



そこが知りたい! なるほどうちな~ニュース

がい らい しゅ きょう い
外来種の脅威

せい たい けい しん こく だ げき
生態系に深刻な打撃

うちな~に詳しいコメントーターとりゅうちゃんがニュースを分かりやすく紹介する「そこが知りたい! なるほどうちな~ニュース」。今回のテーマは「外来種の脅威」です。沖縄には100を超える島があり、世界でここにしかいない固有種を含む在来種が独自の生態系を作り出しています。ところ

ひと もの の い き かっ ぱつ うみ こ おき なわ しま
が人や物の行き来が活発になるにつれ、海を越えて沖縄の島
じま に さまで ま な 生き物が持ち込まれるようになりました。こ
れらは外来種と呼ばれ、島の生態系に深刻な影響を与えてい
ます。外来種が在来種に与える影響を自然や歴史に詳しい樹
れい 齢500年の「がじゅまーるさん」に解説してもらいます。
(2面に続く、8、9面に大型図解)

消えゆく在来種 静かな自然破壊

外来種ってよく聞くけどどういう生き物なの?

ある地域にもともといなかつた生き物が、自然には起こりえない方法、つまり人の手によってその地域に持ち込まれ、定着した生き物を外来種と呼ぶんじゃ。それらはこれまでの島や地域の生態系に大きな影響を与えてるんじゃよ。

ええ!? 人の手で持ち込まれるってどういうこと?

例えばマングースやニホンイタチはハブやネズミを駆除するために、ウシガエルやテラピアは食用として沖縄に移入されたんじゃ。またペットの熱帯魚やミシシッピアカミミガメを川に捨てたり、釣りのためダムにブラックバスを放流したりして繁殖した。教材用に持ち込んだアメリカザリガニやヒキガエルが逃げてあちこちに広がったこともあるんじゃよ。

そのほかにも、観光施設から逃げて定着したと言われるタイワンコブラやタイワンハブの事例や、米軍基地の軍事物資に紛れ込んで沖縄島全域に広がったと言われるシロアゴガエル、木材などに紛れ込んで沖縄県全域に定着してしまったタイワンカブトムシなどの事例もあるんじゃ。

ひゃ~! 見たことある生き物がいりゅ~。外来種の影響ってどんなものがありゅの?

まずは島の在来種を食べてしまうことが挙げられる。貴重なやんばるの生き物がマングースに捕食されたり、在来の小型のカエルやトカゲ、ヤゴがウシガエルに食べられたりして、数が減ってしまったんじゃ。また、生存競争で在来種に影響を与えることも多い。競争力が強いグッピーやカダヤシは在来のミニマメダカを絶滅寸前にまで追いかんだんじゃよ。

タイワンハブやタイワンコブラは直接人への被害がありうるじゃろう。それに農作物への被害もあるぞ。モンシロチョウはキャベツやダイコンに被害を与えてきたし、沖縄島南部では果実や野菜をシロガシラに食べられ、社会問題になったこともあるんじゃ。

また、カメやヘビなどは近縁同士だと、外来種と在来種が交配して雑種が生まれ、純粋な在来種の遺伝子が大きく乱れてしまうこともある。場合によっては在来種の血筋を絶やしてしまうこともあるんじゃよ。

そんなにたくさんありゅんだ~!

捨て猫、捨て犬も原因に

やんばるでは本来森にいたかったノイヌやノネコ(移入種)の害も懸念されているんじゃ。ノイヌ・ノネコって犬と猫?

そうじゃ。やんばるの森では近年、捨てられて野生化した犬や猫がヤンバルクイナやほかの小動物をエサにしている事例が多数見つかっておる。沖縄島には本来肉食獣はいなかったため、島で進化してきた在来種は外来的肉食獣になすべもなく食べられてしまうんじゃ。特に木に登れるノネコはマングースよりもやんばるの生き物の脅威となっているんじゃよ。飼えなくなった犬や猫を山に捨てるには、ペットだけでなく在来種の命も危険に

さらしているんじゃ。

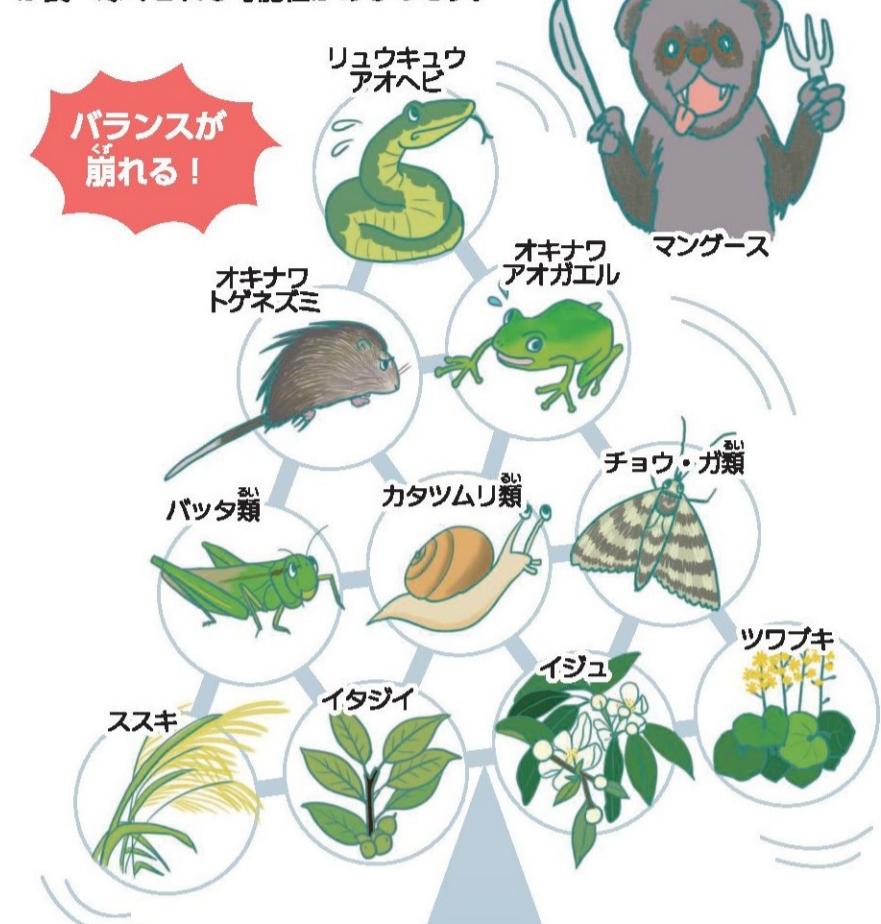
かわいい犬や猫が危険な外來種になってしまふんだね。外來種の問題は、全て人間の都合で引き起こしたものじ

や。害獣駆除や食糧確保など良かれと思ったことが自然に悪影響を与え結果となってしまった。一度崩れた生態系を元に戻すことはとても難しいんじゃ。

外來種の問題は「静かな自然破壊」という研究者もいる。目につきにくい分、ある意味森林伐採などよりも恐ろしいんじゃ。島の生態系を守るためにもペットを飼うときには工夫や飼育方法をきちんと調べて、最後まで責任を持って飼うことが大切じゃ。

やんばるの生態系とマングース

島の生き物たちは長い年月をかけて、相互にエサを変えてすみ分けたり、食う一食われるの関係にあるもの同士でも防御方法を進化させるなど、互いに共存してきました。ところが突然侵入した外来種に対しては、共存するための調整ができていないため、防御のすべてを持たない在来種が食べ尽くされる可能性があるのです。



犬・猫を山に捨てると…



島本来の自然を外來種から守るため、次の3原則を守りましょう。

- ①入れない…外來生物(動植物)はむやみに持ち込まない
- ②捨てない…飼っているペットや外來生物は野外に捨てない
- ③広げない…すでに野外にいる外來生物を他地域に広げない



登場するのは… がじゅまーるさん

自然や歴史について詳しい、実は樹齢500年のガジュマル。のんびりしているが怒ると葉の色が変わる。沖縄の黄金言葉が口癖。

監修: 安座間安史 琉球大学教育学部・教職センター非常勤講師